

# 豊庄だより

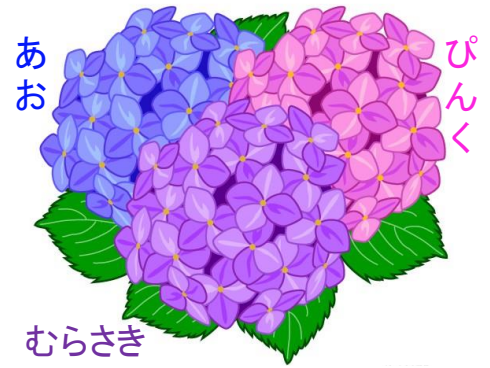
第 760 号 2023 年 6 月 5 日



福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達

今日の朝の会であじさいについてのお話をしました。最初に「あじさいの色は何で変わると思う？」と問いかけてみました。先週、園長先生が「あじさいの色がどうしてかわるのか、ヒントはこれ！」といって傘を見せていたからか、「あめー！」と大きな返事が返ってきました！みんな朝の会のお話のことを考えてくれたんだなあ嬉しくなりました。でもそれだけで答えられてしまうようなお話では紹介しがいがありません！実は雨は半分正解なのです！

答えは「あめ」と「つち」です。まず土について説明すると、土は大きく二種類で構成されており、①有機物：葉っぱや虫・動物の死骸が分解されて作られた栄養 ②無機物：岩石由来の物で主にケイ素(身近なもので言えばガラス・半導体・シリコン)とミ



ネラルなどの金属 となっています。このうち②の中で 2 番目に多い「アルミニウム」という金属が色の変化に大きく関わっています。アルミニウムは身近なもので言えばアルミ缶や一円玉の材料になっているものです。次に雨の方はというと、雨が弱酸性であることが重要です。お空から降ってくるときに空気中の二酸化炭素がとけて弱酸性となります。(環境問題になっている酸性雨はこれに加えて、排気ガスなどによりさらに酸性になったものです。)

この弱酸性の雨が土の中のアルミニウムを溶かします。溶けたアルミニウムは雨と一緒に根っこから吸い上げられ、あじさいの花に届きます。

あじさいの花が持っている色素はアントシアニンといいます。これはワイン・ブルーベリー・紫キャベツ・紅茶などに含まれています。あじさいのアントシアニンはもともとピンク色で、アルミニウムを含むことで青色に変わります。普通はピンクに青を混ぜると紫になって終わりですが、ピンクそのものが青に変わるので、最後には全体が青色になります。

さて話が終わった後の子ども達はというと「つちとあめで変わるのしってたもん。考えたらその二つしかないもんね。」という子や、「私は青が好き。」「紫は暗いから嫌い。」「この写真の色のあじさい見たことないよ」と色の話をする子、「じょうろで水をあげてもなるんだよね?」「もっと詳しく教えて!」と解説をねだる子など、ひまわり組の子が様々な感想をきかせてくれました。



子どもたちに「どういお話だったの?」と是非聞いてみてください。また前の渋柿の時のように事務室前の柱に貼っております。見てみてください。

子どもたちに「どういお話だったの?」と是非聞いてみてください。また前の渋柿の時のように事務室前の柱に貼っております。見てみてください。